

競争的資金配分制度におけるPO・PDの配置状況

【機関名】資金配分制度名	POの設置状況			PDの設置状況			役割権限規定の有無
	POの人数	うち専任	専任の割合	PDの人数	うち専任	専任の割合	
【内閣】食品健康影響評価技術研究	1	0	0.0%	1	0	0.0%	×
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	8	0	0.0%	2	0	0.0%	○
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	0	0	0.0%	0	0	0.0%	×
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	0	0	0.0%	0	0	0.0%	×
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	7	0	0.0%	1	0	0.0%	×
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	2	0	0.0%	0	0	0.0%	○
【文科】元素戦略プロジェクト	2	0	0.0%	2	0	0.0%	○
【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	2	2	100.0%	1	1	100.0%	×
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	2	2	100.0%	1	1	100.0%	×
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	3	0	0.0%	1	0	0.0%	○
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費	3	0	0.0%	1	1	100.0%	○
【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	4	0	0.0%	2	0	0.0%	×
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	1	0	0.0%	2	0	0.0%	×
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	0	0	0.0%	1	0	0.0%	○
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力システム研究開発事業	5	5	100.0%	1	0	0.0%	○
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(本予算分)	3	3	100.0%	1	1	100.0%	○
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分)	0	0	0.0%	0	0	0.0%	○
【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム	3	3	100.0%	1	1	100.0%	○
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	3	0	0.0%	1	0	0.0%	○
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	102	0	0.0%	7	1	14.3%	○
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	11	0	0.0%	1	0	0.0%	○
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	7	0	0.0%	1	1	100.0%	○
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	7	0	0.0%	3	0	0.0%	○
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	16	0	0.0%	5	0	0.0%	○
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤基盤研究プログラム)	4	0	0.0%	0	0	0.0%	○
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	7	0	0.0%	0	0	0.0%	○
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	3	0	0.0%	0	0	0.0%	○
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	12	0	0.0%	0	0	0.0%	○
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	10	0	0.0%	1	0	0.0%	○
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	17	0	0.0%	1	0	0.0%	○
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進・産学共創)	5	0	0.0%	0	0	0.0%	○
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	1	0	0.0%	0	0	0.0%	○
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム(SIP)	7	0	0.0%	3	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(S))	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	122	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	27	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	27	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	27	0	0.0%	6	0	0.0%	○
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	6	0	0.0%	3	0	0.0%	○
【厚労】厚生労働科学研究委託費	83	0	0.0%	23	0	0.0%	○
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究開発支援事業	6	6	100.0%	1	0	0.0%	×
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業	69	4	5.8%	1	1	100.0%	○
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(橋渡し研究事業)	3	0	0.0%	1	0	0.0%	×
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	0	0	0.0%	0	0	0.0%	×
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	5	0	0.0%	3	0	0.0%	×
【国交】建設技術研究開発助成制度	0	0	0.0%	0	0	0.0%	×
【国交】交通運輸技術開発推進制度	0	0	0.0%	6	6	100.0%	×
【環境】環境研究総合推進費	8	8	100.0%	1	0	0.0%	○

競争的資金配分制度におけるPDの年齢別構成

【機関名】資金配分制度名	競争的資金として登録	PDの人数					うち専任					PDの年齢階層別割合				
		30歳未満	30歳以上39歳以下	40歳以上49歳以下	50歳以上59歳以下	60歳以上	30歳未満	30歳以上39歳以下	40歳以上49歳以下	50歳以上59歳以下	60歳以上	30歳未満	30歳以上39歳以下	40歳以上49歳以下	50歳以上59歳以下	60歳以上
【内閣】食品健康影響評価技術研究	○	1				1										100.0%
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	○	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	○	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【文科】元素戦略プロジェクト	○	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	○	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	○	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎戦略研究イニシアティブ	○	1				1	1									100.0%
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基礎研究・人材育成プログラム委託費	○	1				1	1									100.0%
【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	○	2				2	0									100.0%
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	○	2				1	1	0								100.0%
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	○	1				1	0									100.0%
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力システム研究開発事業	○	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【文科】最先端の光の創成を目標としたネットワーク研究拠点プログラム(本予算分)	○	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【文科】最先端の光の創成を目標としたネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分)	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム	○	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【文科】未来社会実現のためのICT基礎技術の研究開発	○	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	○	7	0	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	○	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	○	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	○	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	○	5	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎研究プログラム)	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	○	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進・産学共創)	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム(SIP)	○	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(S))	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(A))	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(B))	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(C))	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(S))	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	○	6				6	0									100.0%
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	○	6				6	0									100.0%
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	○	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【厚労】厚生労働科学研究費委託費	○	23	0	0	0	2	21	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究開発支援事業	○	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業	○	1				1	1									100.0%
【経産】時のつり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(橋渡し研究事業)	○	1				1										100.0%
【経産】時のつり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基礎技術高度化支援事業)	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【NEDO】技術シーズの発掘(内・競争的資金分)	○	3	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
【国交】建設技術研究開発助成制度	○	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【国交】交通運輸技術開発推進制度	○	6	0	1	0	5	0	6	0	1	0	5	0	0	0	100.0%
【環境】環境研究総合推進費	○	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100.0%
合計(延べ人数)		183	0	1	1	21	160	14	0	1	0	6	7	0	0	100.0%

PO・PDの業務や裁量における工夫

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【内閣】食品健康影響評価技術研究	研究事業における個々の研究課題の選定、評価等の実務を行う。	研究事業を統括する。
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業 【総務】IoTイノベーション創出チャレンジプログラム		評価・運営委員会の「座長」等はPD,POには該当しないものとして整理
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発 【総務】消防防災科学技術研究推進制度 【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発 【文科】元素戦略プロジェクト 【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	特になし	特になし
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	特になし	特になし
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ 【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費 【文科】脳科学戦略推進プログラム	特になし	特になし
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	特になし	特になし
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費 【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力システム研究開発事業 【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(本予算分) 【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分) 【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム 【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発		(※ 重複集計を避けるため、人数は本予算分に計上)
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	具体的には以下の通りの研究のマネジメントを実施している。 ・ 日常的な研究進捗把握や中間評価等を通じて、研究計画の最適化・見直しの助言・指示。また、研究課題への研究費配分の見直しや、必要に応じて評価を経た研究課題の中止等の措置を実施。 ・ 研究領域の構想の実現のために必要な場合には、研究課題間の連携や融合(統合)を助言・指揮。 ・ 研究成果をイノベーションにつなげていくため、研究者同士(同一戦略目標下の他の研究領域の研究者などを含む)、また産業界や社会実装の担い手となる産業界等、研究領域内外との情報交換や連携等のネットワーク形成を先導・支援。	PDの活動を活性化するため、平成24年度より研究主監(PD)会議を月1程度開催し、制度改善に向けた取り組みを実施している。平成26年度の具体的な取り組みは以下の通り。 ・ GRETIにおいて課題中間評価で課題を早期終了する仕組みを導入。 ・ ERATOにて、プロジェクトリーダー(PL)の選考を担うパネルオフィサー(PO)を常設化。 等
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	技術領域の運営責任者として、技術領域全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・ 研究課題評価全般の実施 ・ 採択課題候補案の作成 ・ 採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・ 研究開発計画の変更の提言 ・ 必要に応じて、サイトビジットの実施	事業全体の運営責任者として、事業全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・ 先端的低炭素化技術開発事業推進会議の運営 ・ 本事業の根幹にあたる国の施策に対応した技術領域の選定 ・ 本事業の制度、運営、評価の各仕組み・方針に関する提言 ・ 研究の推進・評価に関連し、技術領域間(PO間)の資金配分等の調整や本事業で実施した研究の特筆すべき進捗・成果・影響を踏まえた加速強化等の措置に関する方策提言
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	研究領域の運営責任者として、研究領域全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・ 担当する研究領域における募集・選考方針の策定 ・ 研究課題評価全般の実施 ・ 必要に応じてサイトビジットの実施	事業全体の運営責任者として、事業全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・ 外部有識者による研究開発主監会議の意見を聴いた上で、研究開発領域の設定及び領域総括(PO)及び領域アドバイザーを選定 ・ 研究開発主監会議の意見を聴いた上で、本事業の制度、運営、評価の各仕組み・方針に関して決定 ・ 研究の推進・評価に関連し、採択課題の決定、研究開発領域間(PO間)の資金配分等の調整
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	研究課題評価全般の実施 ・ 採択課題候補案の作成 ・ 採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・ 研究開発計画の変更の提言 ・ 必要に応じて、サイトビジットの実施 ・ 産学共創の場の主催	・ 本事業制度、運営、評価の各仕組み・方針に関する提言 ・ 評価会に出席し、取りまとめの実施 ・ 必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	POの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) プログラム又は領域の運営方針案(目的、目標等の設定)の作成 (2) 評価者の候補者リストの作成 (3) 外部評価に基づく採択課題候補案の作成(優先順位付け、研究開発費の査定、研究開発分担者の必要性及び重複の排除) (4) 評価内容及び不採択理由の開示並びにそれらに対する申請者からの質問及び不服申立への対応 (5) 採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘及び不採択の申請者に対する助言 (6) 進捗状況や予算執行状況の把握及び必要に応じた現地調査の実施 (7) 研究開発計画の変更(拡大・縮小・中止を含む)の提言 (8) プログラム全体の運営見直し等の提案 (9) その他競争的資金制度の運営に必要な事項	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。  PDの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) マネジメントシステムの改善 (2) プログラム又は領域の運営方針案の作成並びに新規のプログラム又は領域の設定案の作成 (3) プログラム間、領域間等の資金の配分額及び配分方式の案の作成 (4) PO間の調整 (5) 採択課題案の作成 (6) POの評価 (7) その他競争的資金制度の運営に必要な事項

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎研究プログラム)	POの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) プログラム又は領域の運営方針案(目的、目標等の設定)の作成 (2) 評価者の候補者リストの作成 (3) 外部評価に基づく採択課題候補案の作成(優先順位付け、研究開発費の査定、研究開発分担者の必要性及び重複の排除) (4) 評価内容及び不採択理由の開示並びにそれらに対する申請者からの質問及び不服申立への対応 (5) 採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘及び不採択の申請者に対する助言 (6) 進捗状況や予算執行状況の把握及び必要に応じた現地調査の実施 (7) 研究開発計画の変更(拡大・縮小・中止を含む)の提言 (8) プログラム全体の運営見直し等の提案 (9) その他競争的資金制度の運営に必要な事項	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。  PDの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) マネジメントシステムの改善 (2) プログラム又は領域の運営方針案の作成並びに新規のプログラム又は領域の設定案の作成 (3) プログラム間、領域間等の資金の配分額及び配分方式の案の作成 (4) PO間の調整 (5) 採択課題案の作成 (6) POの評価 (7) その他競争的資金制度の運営に必要な事項
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	POの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) プログラム又は領域の運営方針案(目的、目標等の設定)の作成 (2) 評価者の候補者リストの作成 (3) 外部評価に基づく採択課題候補案の作成(優先順位付け、研究開発費の査定、研究開発分担者の必要性及び重複の排除) (4) 評価内容及び不採択理由の開示並びにそれらに対する申請者からの質問及び不服申立への対応 (5) 採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘及び不採択の申請者に対する助言 (6) 進捗状況や予算執行状況の把握及び必要に応じた現地調査の実施 (7) 研究開発計画の変更(拡大・縮小・中止を含む)の提言 (8) プログラム全体の運営見直し等の提案 (9) その他競争的資金制度の運営に必要な事項	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。  PDの基本的任務:担当する競争的資金制度に関して次に掲げる業務を行う (1) マネジメントシステムの改善 (2) プログラム又は領域の運営方針案の作成並びに新規のプログラム又は領域の設定案の作成 (3) プログラム間、領域間等の資金の配分額及び配分方式の案の作成 (4) PO間の調整 (5) 採択課題案の作成 (6) POの評価 (7) その他競争的資金制度の運営に必要な事項
【JST】研究成果展開事業(センター・オープンイノベーション(COI)プログラム)	・研究課題評価全般の実施 ・採択課題候補案の作成 ・採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・研究開発計画の変更の提言 ・必要に応じて、サイトビジットの実施	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。  ・本事業制度、運営、評価の各仕組み・方策に関する提言 ・評価会に出席し、取りまとめの実施 ・必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	・研究課題評価全般の実施 ・採択課題候補案の作成 ・採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・研究開発計画の変更の提言 ・必要に応じて、サイトビジットの実施	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。  ・本事業制度、運営、評価の各仕組み・方策に関する提言 ・評価会に出席し、取りまとめの実施 ・必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	研究領域の運営責任者として、研究領域全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・担当する研究領域における募集・選考方針の策定 ・研究課題評価全般の指揮・調整 ・研究領域内の各課題研究費配分の方針の策定等 ・必要に応じてサイトビジットの実施 ・進捗管理全てにおけるJICAとの連携	事業全体の運営責任者として、事業全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・本事業の制度、運営、評価の各仕組み・方策に関する提言 ・研究の推進・評価に関連し、研究領域間(PO間)の資金配分等の調整 ・必要に応じてサイトビジットの実施 ・進捗管理の全てにおけるJICAとの連携
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	研究領域の運営責任者として、研究領域全体の運営方針決定及びマネジメントの実施 ・担当する研究領域における募集・選考方針の策定 ・研究課題評価全般の指揮・調整 ・研究領域内の各課題研究費配分の方針の策定等	事業全体の運営責任者として、事業全体の運営方針及びマネジメントの実施 ・本事業の制度、運営、評価の仕組み・方策に関する提言 ・研究の推進・評価に関連し、研究領域間(PO間)の資金配分等の調整 ・必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	非競争的研究資金のため該当なし。	非競争的研究資金のため該当なし。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	・プログラム運営方針案(目的、目標等の設定)の作成 ・外部評価に基づく採択課題候補案の作成 ・採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘 ・進捗状況の把握及び必要に応じた現地調査の実施 ・研究開発計画の変更(拡大・縮小・中止を含む)の提言	事業全体の運営責任者として、事業全体の運営方針決定及びマネジメントの実施。
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進、産学共創)	・マッチング促進においては、3箇所の事務所毎にPOを配置し、各地域の実情に応じてきめ細かいアドバイスを頂ける体制としている。 ・研究課題評価全般の実施 ・採択課題候補案の作成 ・採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・研究開発計画の変更の提言 ・サイトビジットの実施、実施機関からのヒアリング ・実用性に向けたアドバイス 等	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。  ・本事業制度、運営、評価の各仕組み・方策に関する提言 ・評価会に出席し、取りまとめの実施 ・必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	・研究課題評価全般の実施 ・採択課題候補案の作成 ・採択課題に係る研究開発計画の改善点の指摘・助言 ・研究開発計画の変更の提言 ・必要に応じて、サイトビジットの実施	※PDは研究成果展開事業、復興促進プログラム、先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)全体で5名を委嘱のため、研究成果最適展開支援プログラムのみ記載、その他プログラムの記入欄は無記載としている。  ・本事業制度、運営、評価の各仕組み・方策に関する提言 ・評価会に出席し、取りまとめの実施 ・必要に応じてサイトビジットの実施
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	非競争的研究資金のため該当なし。	非競争的研究資金のため該当なし。



【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	・学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。 ・PD及び各分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。	・研究種目ごとではなく、科学研究費助成事業全体でPD及びPOを配置しており、PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	・学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。 ・PD及び各分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。	・研究種目ごとではなく、科学研究費助成事業全体でPD及びPOを配置しており、PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	・学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。 ・PD及び各分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。	・研究種目ごとではなく、科学研究費助成事業全体でPD及びPOを配置しており、PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	・学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。 ・PD及び各分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。	・研究種目ごとではなく、科学研究費助成事業全体でPD及びPOを配置しており、PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	・学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。 ・PD及び各分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。	・研究種目ごとではなく、科学研究費助成事業全体でPD及びPOを配置しており、PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	・学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。 ・PD及び各分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。	・研究種目ごとではなく、科学研究費助成事業全体でPD及びPOを配置しており、PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に関催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。 ・審査・評価そのものには関わらず、公正で透明性の高い審査・評価システムの確立に寄与している。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金		
【厚労】厚生労働科学研究所委託費		
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業		プログラムのマネジメント、POの統括管理
【NIBIO】希少疾病用医薬品等開発振興事業		
【NIBIO】ウルトラオーファン強化費用		
【NIBIO】希少疾病用再生医療品等開発支援事業		プログラムのマネジメント、POの統括管理
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業		
【NARO】革新的技術緊急展開事業(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	POとは別に、技術体系の円滑な推進のため、技術体系ごとに体系推進担当者を設置。 事業全体の運営については総括POを、各試験研究計画毎に専門的知見を有する専門POを設置している。	PDを補佐する者としてPD補佐、総括POを設置している。
【NARO】革新的技術緊急展開事業(経営評価研究及びマーケティング研究)	POとは別に、経営評価研究、マーケティング研究それぞれに1名ずつ体系推進担当者を設置。	PDを補佐する者としてPD補佐、総括POを設置している。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)		
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術		
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(橋渡し研究事業)	なし	なし
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)		
【NEDO】ナショナルプロジェクト		
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)		
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)		
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	・機構では、競争的資金制度とそれ以外の事業の両方を所管する部署があり、当該部署においては兼任のPOを配置して業務の効率化を図っている。 ・なお、兼任のPOが競争的資金制度以外の事業にも精通することにより、競争的資金制度において得られた優れた成果を効率的にプロジェクト化できるなど、兼任によるメリットを活かしている。	・機構では、競争的資金制度とそれ以外の事業の両方を所管する部署があり、当該部署においては兼任のPDを配置して業務の効率化を図っている。 ・なお、兼任のPDが競争的資金制度以外の事業にも精通することにより、競争的資金制度において得られた優れた成果を効率的にプロジェクト化できるなど、兼任によるメリットを活かしている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金以外分)		
【国交】建設技術研究開発助成制度	任命していない。	任命していない。

【機関名】資金配分制度名	POの業務や裁量における工夫	PDの業務や裁量における工夫
【国交】交通運輸技術開発推進制度	該当なし	総合科学技術会議 競争的資金制度改革 PD 基本的役割以外の業務、工夫項目はなし。
【環境】環境研究総合推進費	総括POの設置によるPO間のレベル合わせと情報共有	

○:多段階方式を採用している	33	41.8%
×:多段階方式を採用していない	45	57.0%
(未回答)	1	1.3%
プログラム数	79	100.0%

多段階選抜方式の採用

【機関名】資金配分制度名	多段階選抜方式の採用	採用(○)の場合、実績
【内閣】食品健康影響評価技術研究	×	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	○	一部のプログラムで多段階選抜方式を採用。
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	○	・2014年度、第一次提案は48件 ・うち、ベンチャーキャピタル等で構成する第一次提案審査会を通過した課題は22件 ・さらに第二次提案を提出し、有識者による評価・運営委員会を経た採択課題は6件
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	×	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	×	
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	×	
【文科】元素戦略プロジェクト	×	
【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	×	
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基礎研究・人材育成プログラム委託費	×	
【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	○	1期3年、18課題、2期2年6課題。平成20年採択したの課題で実施した。なお、2期の選抜に当たったの詳細は不明。
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	×	
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力システム研究開発事業	×	
【文科】最先端の光の創成を旨としたネットワーク研究拠点プログラム(本予算分)	×	
【文科】最先端の光の創成を旨としたネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分)	×	
【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム	×	
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	×	
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	×	
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	×	
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	×	
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	○	本事業は2013年度より開始しており、2015年度に最初のSG評価を実施予定
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	○	・起業挑戦タイプが多段階選抜方式に該当する。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	○	平成25年度にCOI拠点等に発展することが期待される拠点をトライアル課題として14課題採択。当該14課題を対象に新規拠点としての再構想を求め、平成27年度よりその中から6課題を新規拠点に格上げすることを決定した。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	×	
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	×	
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	平成26年2月に開始したe-ASIA共同研究プログラムにおいて、プレ提案書とフル提案書による多段階選抜方式による公募を試行的に導入した。  相手国機関との協議により延長評価を導入し、評価が高い課題には2年の支援期間の延長を実施している。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	×	
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	×	
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進、産学共創)	×	
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	×	
【JST】戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)(5課題合計)	○	革新的燃焼技術:初年度のため実績なし。 エネルギーキャリア:平成26年度11件の研究開発テーマについて採択し、平成26年度末評価を経て、一部の研究開発テーマについて、中止、統合、分割を行い、新たに11の研究開発テーマに研究開発体制を組み直した。 レジリエントな防災・減災機能の強化:初年度のため実績なし。 革新的構造材料:フィージビリティスタディ(FS)(2年間)を1件実施。 インフラ維持管理・更新・マネジメント技術:平成28年度にステージゲートを実施予定。初年度のため実績なし。
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム(SIP)	○	本事業は2013年度より開始しており、2015年度に最初のSG評価を実施予定
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業(補正予算分:設備整備費補助金)	○	本事業は2013年度より開始しており、2015年度に最初のSG評価を実施予定
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)(補正予算分:設備整備費補助金)	○	・起業挑戦タイプが多段階選抜方式に該当する。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)(補正予算分:革新的新技術研究開発補助金(ImPACT))	○	多段階選抜方式を取り入れているPMもいるが、実施段階であり、まだ成果創出に至っていない。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	○	書面審査、審査意見書、ヒアリング、合議審査による多段階の審査方式を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	○	書面審査、審査意見書、ヒアリング、合議審査による多段階の審査方式を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。



【機関名】資金配分制度名	多段階選抜方式の採用	採用(○)の場合、実績
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(S))		新規募集停止。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	○	書面審査と合議審査の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	○	書面審査、審査意見書、ヒアリング、合議審査による多段階の審査方式を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	○	書面審査と合議審査(ヒアリング)の二段審査方式。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	○	書面審査、審査意見書、ヒアリング、合議審査による多段階の審査方式を実施している。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	×	
【厚労】厚生労働科学研究委託費	×	
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業	×	
【NIBIO】希少疾病用医薬品等開発振興事業	×	
【NIBIO】ウルトラオープン強化費用	×	
【NIBIO】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	×	
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業	○	11課題について多段階選抜方式を採用
【NARO】革新的技術緊急展開事業(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	×	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(経営評価研究及びマーケティング研究)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	×	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	×	
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(橋渡し研究事業)	×	
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	×	
【NEDO】ナショナルプロジェクト	○	事業実施期間を複数のステージに分割することで、採用すべき技術が確定できない初期のステージでは複数の選択肢を並行的に試みることで、次のステージへ移行する際に評価を行うゲートを設けることで、技術の取捨選択や技術の融合、必要な実施体制の見直し等を柔軟に図ることができている。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	○	事業実施期間を複数のステージに分割することで、採用すべき技術が確定できない初期のステージでは複数の選択肢を並行的に試みることで、次のステージへ移行する際に評価を行うゲートを設けることで、技術の取捨選択や技術の融合、必要な実施体制の見直し等を柔軟に図ることができている。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	×	
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	○	事業実施期間を複数のステージに分割することで、採用すべき技術が確定できない初期のステージでは複数の選択肢を並行的に試みることで、次のステージへ移行する際に評価を行うゲートを設けることで、技術の取捨選択や技術の融合、必要な実施体制の見直し等を柔軟に図ることができている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金以外分)	○	事業実施期間を複数のステージに分割することで、採用すべき技術が確定できない初期のステージでは複数の選択肢を並行的に試みることで、次のステージへ移行する際に評価を行うゲートを設けることで、技術の取捨選択や技術の融合、必要な実施体制の見直し等を柔軟に図ることができている。
【国交】建設技術研究開発助成制度	○	平成23年度より一部に導入。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	×	
【環境】環境研究総合推進費	×	

(注) / : 対象外

○:アワード型方式を採用している	0	0.0%
×:アワード型方式を採用していない	78	98.7%
(未回答)	1	1.3%
プログラム数	79	100.0%

アワード型方式の採用

【機関名】資金配分制度名	アワード型方式の採用	採用(○)の場合、実績
【内閣】食品健康影響評価技術研究	×	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	×	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	×	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	×	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	×	
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	×	
【文科】元素戦略プロジェクト	×	
【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	×	
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費	×	
【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	×	
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	×	
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力システム研究開発事業	×	
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(本予算分)	×	
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分)	×	
【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム	×	
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	×	
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	×	
【JST】戦略的創造研究推進事業(先進的低炭素化技術開発)	×	
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	×	
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	×	
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	×	
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	×	
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	×	
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	×	
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	×	
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進、産学共創)	×	
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	×	
【JST】戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)(5課題合計)	×	
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム(SIP)	×	
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業(補正予算分:設備整備費補助金)	×	
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)(補正予算分:設備整備費補助金)	×	
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)(補正予算分:革新的新技術研究開発補助金(ImPACT))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(S))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(A))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(B))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(C))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(S))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	×	
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	×	
【厚労】厚生労働科学研究委託費	×	
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究開発支援事業	×	
【NIBIO】希少疾病用医薬品等開発振興事業	×	
【NIBIO】ウルトラオープン強化費用	×	
【NIBIO】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	×	
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業	×	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	×	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(経営評価研究及びマーケティング研究)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(23補正予算分)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	×	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創出プログラム)次世代農林水産業創造技術	×	
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(橋渡し研究事業)	×	
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	×	
【NEDO】ナショナルプロジェクト	×	
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	×	
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	×	
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	×	
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金以外分)	×	
【国交】建設技術研究開発助成制度	×	
【国交】交通運輸技術研究開発推進制度	×	
【環境】環境研究総合推進費	×	

(注) / :対象外

○:事業化に係る費用の支出を認めている	35	44.3%
×:事業化に係る費用の支出を認めていない (未回答)	43	54.4%
	1	1.3%
プログラム数	79	100.0%

事業化に係る費用の支出

【機関名】資金配分制度名	事業化に係る費用の支出	認めている(○)の場合、実績
【内閣】食品健康影響評価技術研究	×	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	○	成果展開に向けた調査、成果展開の計画策定等に係るコンサルタント、ベンチャーキャピタリスト等の費
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	○	ICTイノベーション創出チャレンジプログラムは、事業化支援のための補助金であるため、採択した案件すべてに、事業化のためのプロトタイプ試作、実証実験を助成するための補助金を支給している。
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	○	試作品開発、検証費用
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	○	物品の購入、製作、改造などにより試作品を開発する費用は支出可能。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	○	試作品費等
【文科】元素戦略プロジェクト	○	試作品費等
【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	×	
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	×	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費	×	
【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	×	
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	×	
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	○	試作品費用
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力システム研究開発事業	×	
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(本予算分)	×	
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分)	×	
【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム	×	
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	○	試作品費用
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	×	
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	×	
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	○	社会実装を目指す活動における、試作品、モニター品等の作成費用を認めている。
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	×	
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	○	(実用化を目指す事業であるため)試作品費、臨床試験など事業化に係る費用の支出は認めている
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	×	
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(OOI)プログラム)	○	試作品の製作、実証実験、市場調査
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	○	試作品費用等
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	×	
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	×	
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	×	
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	×	
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進、産学共創)	○	試作品費用等
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	○	試作品費用等
【JST】戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)(5課題合計)	○	試作品の製作、実証実験、市場調査、展示会等の参加費用
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム	×	
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業(補正予算分・設備整備費補助金)	×	
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)(補正予算分・設備整備費補助金)	○	(実用化を目指す事業であるため)試作品費、臨床試験など事業化に係る費用の支出は認めている
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)(補正予算分・革新的新技術研究開発補助金(ImPACT))	○	試作品の制作等。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(S))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(A))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(B))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(基礎研究(C))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(S))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	×	
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	×	
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	×	
【厚労】厚生労働科学研究委託費	×	
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究開発支援事業	×	
【NIBIO】希少疾病用医薬品等開発振興事業	○	医薬品医療機器総合機構による対面助言等
【NIBIO】フルトラーファン強化費用	○	医薬品医療機器総合機構による対面助言等
【NIBIO】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	○	医薬品医療機器総合機構による対面助言等
【農水】農林水産業・食品産業科学技術推進事業	○	実用化に向けた試作品等の経費は認めている。
【NARO】革新的技術緊急展開事業(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	○	試作品費用等を認めている
【NARO】革新的技術緊急展開事業(経営評価研究及びマーケティング研究)	×	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	○	試作品費用等を認めている

【機関名】資金配分制度名	事業化に係る費用の支出	認めている(○)の場合、実績
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	○	試作品費用等を認めている
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	○	試作品費用等を認めている
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	○	試作品費用等を認めている
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	○	試作品費用等を認めている
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(播渡し研究事業)	○	地域発の優れた実用化技術の製品化に向けた、試作品開発に係る機械設備費や労務費
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	○	展示会出展費、海外マーケティング費用等
【NEDO】ナショナルプロジェクト	○	試作品製造・分析等費用、「国民との科学・技術対話」に係る費用(アウトリーチ活動費)、特許出願費用などを実用化・事業化に係る支出として費用計上を認めている。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	○	試作品製造・分析等費用、「国民との科学・技術対話」に係る費用(アウトリーチ活動費)、特許出願費用などを実用化・事業化に係る支出として費用計上を認めている。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	○	試作品製造・分析等費用、「国民との科学・技術対話」に係る費用(アウトリーチ活動費)、特許出願費用などを実用化・事業化に係る支出として費用計上を認めている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	○	試作品製造・分析等費用、「国民との科学・技術対話」に係る費用(アウトリーチ活動費)、特許出願費用などを実用化・事業化に係る支出として費用計上を認めている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金以外分)	○	試作品製造・分析等費用、「国民との科学・技術対話」に係る費用(アウトリーチ活動費)、特許出願費用などを実用化・事業化に係る支出として費用計上を認めている。
【国交】建設技術研究開発助成制度	○	「物品費」のうち、「消耗品」として「試作品」の購入経費を認めている(支出可能なものとして例示している)
【国交】交通運輸技術開発推進制度	x	
【環境】環境研究総合推進費	x	

(注) / :対象外

資金配分マネジメントの強化

【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【内閣】食品健康影響評価技術研究 【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	ICT分野の研究者として次世代を担う若手人材を育成することや中小企業の斬新な技術を開発するために、若手研究者又は中小企業の研究者が提案する研究開発を推進するプログラムを設定。	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	公募要領や補助金交付要綱にて、応募対象を企業の場合は、中小企業基本法第2条に規定する中小企業者等に限っている。	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	中小企業への資金配分をより効果的に実施するため、中小企業技術革新制度(SBIR)の特定補助金として登録。	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	SBIR制度に登録し、中小企業への利便性を図っている。 概算払いを認め、資金繰りに関する利便性を高めている。	PD、POと事務局、消防庁内の関連部署との連携を密に行いながら研究の進捗状況を把握することで、十分な成果を得られるよう取り組んでいる。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発 【文科】元素戦略プロジェクト 【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム 【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム 【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ 【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム 委託費 【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	特になし	特になし
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	特になし	特になし
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費 【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力システム研究開発事業 【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(本予算分) 【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分) 【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム 【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発		
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	CREST、さきがけ、ERATOなどで創出された世界をリードする顕著な研究成果のうち有望なもの、すぐには企業などではリスクの判断が困難な成果を抽出し、プログラムマネージャー(PM)のイノベーション指向の研究開発マネジメントにより、技術的成立性の証明・提示(Proof of Concept: POC)および適切な権利化を推進することで、企業やベンチャー、他事業などに研究開発の流れをつなげるACCEL事業を平成25年から開始した。CRESTにおいて、CRESTの研究領域全体としての成果の最大化と事業予算の効果的活用を図るため、研究代表者のマネジメント能力に著しい不備がある、目的達成が見込めない等の場合に、課題中間評価で課題を早期終了する仕組みを導入した。	本事業のうち、CREST・さきがけでは研究総括(PO)を中心に、研究課題の採択時に研究計画を精査し、必要に応じて研究費の増減、研究実施内容の見直し、修正を行っている。 同様に採択後の研究課題もPOが中心となり、研究実施場所に訪問し研究の進捗状況を確認するサイトビジットや各研究課題の進捗報告を行う領域会議などを通じて研究者との綿密なコミュニケーションにより、研究の進捗を把握し、研究者に対して助言・指示を行っている。また、状況に応じて研究費の機動的な見直し、配分を行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	PD・POの強いリーダーシップの下、ステージゲート評価による研究開発の重点化や、PD 裁量経費による研究開発の加速化などを実施。	研究契約の変更等について、速やかに対応することとしている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	成果の受け手となるステークホルダーを含む実施体制での応募を求めるなどにより、成果が社会に還元されるものとなるように努めている。	POは、研究開発を実施している現場を訪問するなどし、逐次研究進捗を確認しアドバイスをを行うなど、プロジェクトの目標達成に向けたマネジメントを行っている。
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	再生医療の臨床応用に向けた研究開発を加速するため、以下の通り事業内連携を促進する制度設計としている。 ・「疾患・組織別実用化研究拠点」は、「iPS 細胞研究中核拠点」から提供される再生医療用 iPS細胞を用いて臨床応用を目指し、安全性などに関する情報を還元するなど、「iPS 細胞研究中核拠点」との連携をはかることとする。 ・「技術開発個別課題」は、「iPS 細胞研究中核拠点」または「疾患・組織別実用化研究拠点」と連携することとし、その際には、拠点長が技術開発個別課題の進捗に責任を持って関与する。また「技術開発個別課題」の実施者に対して、拠点の設備を共用プラットフォームとして提供し、必要な支援を行うことも可能とする。得られた成果は広く「疾患・組織別実用化研究拠点」に供与し、再生医療への応用を積極的に図ることとする。	JSTプログラムオフィサー(JST-PO)等専門人材を育成するプログラムを実施
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	マッチングファンド形式においては、企業の資本金に額に応じて自己負担率を変更しており、ベンチャー企業等の申請を促している。	プログラムオフィサーとともに現地調査を含めた課題の進捗管理、予算施行状況の確認など、開発管理に必要なスキルを取得できる体制をとっている。

【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	・最長10年間の技術テーマ実施期間において、研究課題の実施期間を2年とし、評価結果を踏まえさらに2年間の研究期間延長を認めている。また、「産学共創の場」を通じて、各研究課題に対し、終了後の企業との共同研究実施等に結びつけるよう促している。	・プログラムオフィサーが各課題の研究の内容・進捗に応じ、柔軟に研究費の配分を行っている。また、研究の進捗状況に応じ、参画機関(大学等)の追加・交代・脱退や計画の変更等についても実施している。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	・研究開発課題について、最長10年間の研究開発期間を3つのステージ(I, II, III)に区分し、ステージIIIについては「マッチングファンド形式」として参画企業にも応分の負担を求めることで、企業が事業化に対する本気度を高めることを期待している。	・プログラムオフィサーが各課題の研究開発の内容・進捗に応じ、柔軟に研究開発費の配分を行っている。また、研究開発の進捗状況に応じ、参画機関(大学・企業等)の追加・交代・脱退や計画の変更等についても実施している。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	・社会実装を目指しているため各拠点の責任者(プロジェクトリーダー)は企業が担当している。 ・しかしながら、参画企業への資金配分は行わず、自社の負担により研究開発を実施してもらうため、真剣にプログラムの趣旨に賛同する企業のみが参画する仕組みとしている。 ・従って、事業化に係る費用の支出は認めているものの、事業化を担う参画企業の負担を期待している。	・各拠点の研究開発の内容・進捗に応じ、柔軟に大学・企業等の追加・脱退や計画の変更等を実施している。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	・産と学・官が連携する開発チームを編成し、開発チームにはチームリーダー及びサブリーダーを置くことで、一体となって開発を推進。 ・開発目標が達成された課題は、ステップアップして(例えば、機器開発タイプから実証・実用化タイプへ)継続実施が可能	プログラムオフィサーとともに現地調査を含めた課題の進捗管理、予算施行状況の確認など、開発管理に必要なスキルを取得できる体制をとっている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	ODAとの連携を通して開発途上国の開発政策やニーズとの整合性、具体的な社会実装への道筋に留意した選考を行っている。また、プロジェクト終了後の成果の担い手となる企業等との連携提案や相手国の行政機関等を含めた組織的な提案を歓迎している。	研究主幹とともに現地調査を含めた課題の進捗管理など、課題管理に必要なスキルを取得できる体制をとっている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	相手国・地域及び研究分野に応じた、イノベーションの創出に資する共同研究をより柔軟に実施するため、戦略的国際共同研究プログラムへ戦略的国際科学技術協力推進事業の制度を統合した。統合後、戦略的国際共同プログラムにおいて予算規模の異なる3つの支援タイプを設けることで、相手国・地域及び研究分野に応じた支援規模の最適化が可能になるとともに、研究の進展に伴い支援規模の拡大など柔軟な運用が可能となることが期待される。また、従来、POが配置されていなかった戦略的国際科学技術推進事業下の協力においてもPOが配置されることとなり、固定POの俯瞰的な配置による事業全体の最適化、効率的運営が可能となることが期待される。 日本と相手国の研究者を集め両国での協力を資する研究領域の議論を行うワークショップを開催することで、分野探索のプロセスを通じた相手国との研究者ネットワーク構築、相手国でのプレゼンス向上、を促進している。 企業研究者の参加について公募要領に明記し、企業研究者の参加を促進している。	研究領域及び研究主幹の選定は、機構内の関連部署や外部有識者の意見も踏まえて行うことにより、他事業との連携による効果的な研究推進を行うとともに、研究主幹の選定において既存の関係性の高い研究領域との兼任による選定を行うことにより、俯瞰的な視点で複数研究領域をマネジメントできる体制とした。また、採択時には全ての課題の研究代表者へ対面による研究費の適切な執行や研究倫理に根ざした研究活動の実施のための説明を行い、必要に応じて事前評価のコメント等のフィードバックを行っている。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	相手国・地域及び研究分野に応じた、イノベーションの創出に資する共同研究をより柔軟に実施するため、戦略的国際共同研究プログラムへ戦略的国際科学技術協力推進事業の制度を統合した。統合後、戦略的国際共同プログラムにおいて予算規模の異なる3つの支援タイプを設けることで、相手国・地域及び研究分野に応じた支援規模の最適化が可能になるとともに、研究の進展に伴い支援規模の拡大など柔軟な運用が可能となることが期待される。また、従来、POが配置されていなかった戦略的国際科学技術推進事業下の協力においてもPOが配置されることとなり、固定POの俯瞰的な配置による事業全体の最適化、効率的運営が可能となることが期待される。 日本と相手国の研究者を集め両国での協力を資する研究領域の議論を行うワークショップを開催することで、分野探索のプロセスを通じた相手国との研究者ネットワーク構築、相手国でのプレゼンス向上、を促進している。 企業研究者の参加について公募要領に明記し、企業研究者の参加を促進している。	統合化前に採択された課題については研究主幹によるマネジメントは行われていないが、採択時に全ての課題の研究代表者へ対面による研究費の適切な執行や研究倫理に根ざした研究活動の実施のための説明を行い、必要に応じて事前評価のコメント等のフィードバックを行うことにより、効果的な研究推進を行っている。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	ベンチャー企業等が応募しやすい条件・環境づくり等は特に実施していない。	JSTPOの制度や海外大学への研修制度が有る。
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進、産学共創)	各事務所に配置されたマッチングプランナーが、申請前から被災地企業を懇切丁寧に指導し、研究開発計画を作り込み、マッチングプランナー自身も申請者となる。採択後はマッチングプランナーの指導・助言を得ながら、研究開発に取り組んでいる。これにより、公的研究開発事業の利用経験が高い、高い技術力はあるが研究開発経験に不慣れな企業に対して、敷居が低く、利用しやすいプログラムとしている。	各事務所に配置されたマッチングプランナーのミーティングの機会を設け、「申請課題のブラッシュアップのポイント」、「ニーズの効果的な掘り起こし」、「より効果的な研究進捗マネジメント」等をテーマに議論するほか、分野別に具体的な課題事例について議論するなど、各マッチングプランナーが実地の活動で得た経験・ノウハウを持ち寄ることにより、スキルの向上を図っている。これにより、日頃からマッチングプランナーのスキル向上を図るとともに、マッチングプランナー間で連携することにより、各々のマッチング活動や各担当課題のフォローアップに活かしている。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	・産と学・官が連携する開発チームを編成し、開発チームにはチームリーダー及びサブリーダーを置くことで、一体となって開発を推進。 ・行政ニーズや被災地ニーズ等が高い放射線計測技術を「革新技術タイプ」「実用化タイプ」2つのタイプを推進することにより実施	プログラムオフィサーとともに現地調査を含めた課題の進捗管理、予算施行状況の確認など、開発管理に必要なスキルを取得できる体制をとっている。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	・大学だけではなく、企業の応募も認めている ・中小企業でない企業の間接経費は10%を上限として設定しているが、中小企業の間接経費は15%まで認めることとしている。	・各拠点の研究開発の内容・進捗に応じ、柔軟に大学・企業・自治体等の追加・脱退や計画の変更等を実施している。

【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム(SIP)	再生医療の臨床応用に向けた研究開発を加速するため、以下の通り事業内連携を促進する制度設計としている。 ・「疾患・組織別実用化研究拠点」は、「iPS 細胞研究中核拠点」から提供される再生医療用 iPS細胞を用いて臨床応用を目指し、安全性などに関する情報を還元するなど、「iPS 細胞研究中核拠点」との連携をはかることとする。 ・「技術開発個別課題」は、「iPS 細胞研究中核拠点」または「疾患・組織別実用化研究拠点」と連携することとし、その際には、拠点長が技術開発個別課題の進捗に責任を持って関与する。また「技術開発個別課題」の実施者に対して、拠点の設備を共用プラットフォームとして提供し、必要な支援を行うことも可能とする。得られた成果は広く「疾患・組織別実用化研究拠点」に供与し、再生医療への応用を積極的に図ることとする。	JSTプログラムオフィサー(JST-PO)等専門人材を育成するプログラムを実施
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業(補正予算分:設備整備費補助金)	再生医療の臨床応用に向けた研究開発を加速するため、以下の通り事業内連携を促進する制度設計としている。 ・「疾患・組織別実用化研究拠点」は、「iPS 細胞研究中核拠点」から提供される再生医療用 iPS細胞を用いて臨床応用を目指し、安全性などに関する情報を還元するなど、「iPS 細胞研究中核拠点」との連携をはかることとする。 ・「技術開発個別課題」は、「iPS 細胞研究中核拠点」または「疾患・組織別実用化研究拠点」と連携することとし、その際には、拠点長が技術開発個別課題の進捗に責任を持って関与する。また「技術開発個別課題」の実施者に対して、拠点の設備を共用プラットフォームとして提供し、必要な支援を行うことも可能とする。得られた成果は広く「疾患・組織別実用化研究拠点」に供与し、再生医療への応用を積極的に図ることとする。	JSTプログラムオフィサー(JST-PO)等専門人材を育成するプログラムを実施
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)(補正予算分:設備整備費補助金)	マッチングファンド形式においては、企業の資本金に額に応じて自己負担率を変更しており、ベンチャー企業等の申請を促している。	プログラムオフィサーとともに現地調査を含めた課題の進捗管理、予算施行状況の確認など、開発管理に必要なスキルを取得できる体制をとっている。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)(補正予算分:革新的新技術研究開発補助金(ImPACT))	CSTIが設定するテーマについて優れたアイデアをもつPMを厳選し、大胆な権限をPMに付与し、優秀な研究者とともにイノベーションを創出する。	CSTIの指示の下、PMに対するPM研修を実施。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(S))		
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。

【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	・学術システム研究センターにおいて学術動向の調査等を実施することにより、多様かつ急速に進展する学術の動向を把握し、その成果を業務に反映している。	・PD及び多数の分野を代表するPOが参加する会議を定期的に開催することで、学術研究全般の課題を議論しつつ、業務を実施している。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金 【厚労】厚生労働科学研究委託費		
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業	該当無し	該当無し
【NIBIO】希少疾病用医薬品等開発振興事業	制度全般に関する説明会を厚生労働省、PMDAの各講師に依頼して東京、大阪で実施し、幅広く、制度の普及に努めている。	シンポジウム等への参加、アンケート等による企業の要望の把握に努めて、改善の必要性について随時検討している。
【NIBIO】ウルトラオーファン強化費用	制度全般に関する説明会を厚生労働省、PMDAの各講師に依頼して東京、大阪で実施し、幅広く、制度の普及に努めている。	シンポジウム等への参加、アンケート等による企業の要望の把握に努めて、改善の必要性について随時検討している。
【NIBIO】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	説明会を実施し、幅広く、制度の普及に努める予定である。	アンケート等による要望の把握に努めて、改善の必要性について随時検討している。
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業		
【NARO】革新的技術緊急展開事業(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)		
【NARO】革新的技術緊急展開事業(経営評価研究及びマーケティング研究)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	研究開発終了後に行う評価において、研究開発が成功と判定した場合は支出した委託費の全額の返済を求め、不成功と判断された場合は、委託費の10%の返済を求める。	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	研究開発終了後に行う評価において、研究開発が成功と判定した場合は支出した委託費の全額の返済を求め、不成功と判断された場合は、委託費の10%の返済を求める。	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術		
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(橋渡し研究事業)	なし	なし
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)		
【NEDO】ナショナルプロジェクト	・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創出効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。 ・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。	・事業実施者に対しては、産業界、学術界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、最高経営責任者(CEO)をはじめとする企業経営層との一層の連携強化を図り、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。 ・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。



【機関名】資金配分制度名	制度設計上の工夫	制度運用上の工夫
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	<p>・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学术界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創出効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。</p> <p>・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。</p>	<p>・事業実施者に対しては、産業界、学术界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、最高経営責任者(CEO)をはじめとする企業経営層との一層の連携強化を図り、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。</p> <p>・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。</p>
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	<p>・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学术界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創出効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。</p> <p>・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。</p>	<p>・事業実施者に対しては、産業界、学术界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、最高経営責任者(CEO)をはじめとする企業経営層との一層の連携強化を図り、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。</p> <p>・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。</p>
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	<p>・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学术界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創出効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。</p> <p>・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。</p>	<p>・事業実施者に対しては、産業界、学术界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。</p> <p>・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。</p>
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金以外分)	<p>・事業の立ち上げにあたっては、産業界、学术界等の外部の専門家・有識者を活用して、市場創出効果、雇用創出効果等が大きく、広範な産業への高い波及効果を有し、中長期的視点から我が国の産業競争力の強化に資することや内外のエネルギー、環境問題を始めとする社会的課題の解決への貢献、投入費用を上回る効果が見込まれるかどうかの費用対効果等の観点も含めた制度設計を行っている。</p> <p>・将来の社会ニーズや技術進歩の動向、国際的な競争ポジション等を踏まえ、要素技術、要求スペック、それらの導入シナリオ等を時間軸上に示した技術の開発や普及に係る道筋を継続的に策定・改訂している。</p>	<p>・事業実施者に対しては、産業界、学术界等の外部の専門家・有識者のネットワークを活用し、知的財産の適切な管理、運営、国際標準化の取組を含む技術経営力の強化に係る助言を行うとともに、最高経営責任者(CEO)をはじめとする企業経営層との一層の連携強化を図り、事業終了後における技術開発成果の実用化・事業化への取組強化への働きかけを行っている。</p> <p>・機構職員に対しては、技術経営力に関する研修の実施、外部の技術開発現場等への派遣、技術経営学や工学等の博士号・修士号等の取得など、技術経営力の強化に関する助言業務実施に必要な知識や技能の獲得に資する能力開発を行っている。</p>
【国交】建設技術研究開発助成制度	<p>中小企業のみが応募できる区分(研究代表者の要件が中小企業基本法に基づく中小企業であることを設けている)。</p>	<p>特になし。</p>
【国交】交通運輸技術開発推進制度 【環境】環境研究総合推進費	<p>民間研究機関とのコンソーシアム型研究において、採択時の加点要素とする。</p>	

採択課題での年度間の「予算繰越制度」の実績

【機関名】資金配分制度名	利用件数【件】	利用額【千円】	(コメント)
【内閣】食品健康影響評価技術研究	0	0	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	0	0	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム			Q1は資金配分独法あての設問のため該当しない
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	0	0	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	0	0	
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	0	0	
【文科】元素戦略プロジェクト	0	0	
【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	0	0	
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	0	0	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	0	0	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費	0	0	
【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	0	0	特になし。
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	0	0	特になし。
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	0	0	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力システム研究開発事業	0	0	
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(本予算分)	0	0	
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分)	2	234,555	
【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム	0	0	
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	0	0	
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	446	1,873,213	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 446件
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	72	182,420	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 71件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 1件
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	105	115,513	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 105件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	1	2,532,000	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 0件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 1件
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	591	880,434	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 123件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 468件
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	4	8,243	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 4件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	6	33,217	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 6件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(GOI)プログラム)	22	328,021	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 22件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	7	41,236	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 7件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	19	24,773	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 19件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	13	8,330	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 13件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	9	4,830	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数: 9件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数: 0件
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	11	11,726	
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進、産学共創)	35	53,316	研究機関に残したまま繰越した課題件数: 35件

【機関名】資金配分制度名	利用件数[件]	利用額[千円]	(コメント)
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	1	8,983	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数：1件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数：0件
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	133	2,192,987	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数：120件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数：13件
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム(SIP)	3	1,282,860	繰越の種類として、研究機関に研究費を残したまま繰り越しと、当機構に一度研究費を返納して頂き、翌年度再配分する繰り越しの2つがある。 【繰越実績の内訳】 研究機関に残したまま繰越した課題件数：0件 機構に一度返納頂き、翌年度再配分した課題件数：3件
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業(補正予算分:設備整備費補助金)	0	0	該当なし
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)(補正予算分:設備整備費補助金)	0	0	設備整備費補助金のため該当無し
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)(補正予算分:革新的新技術研究開発補助金(ImPACT))	111	2,721,128	予算を基金として管理。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	26	508,415	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	101	923,782	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	282	833,869	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	168	200,032	
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	2	725	
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	0	0	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(S))	0	0	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	72	146,116	
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	2	780	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	69	36,575	
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	17	4,555	
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	9	15,324	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	106	41,330	
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	307	1,165,744	
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	2	20,099	
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	0	0	
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	1	13,650	
【厚労】厚生労働科学研究委託費	2	8,550	
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業	0	0	
【NIBIO】希少疾病用医薬品等開発振興事業	0	0	
【NIBIO】ウルトラオープン強化費用	0	0	
【NIBIO】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	0	0	
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業	0	0	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	9	16,017	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(経営評価研究及びマーケティング研究)	0	0	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	2	1,763	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	3	33,227	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	0	0	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	0	0	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	1	4,088	
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(橋渡し研究事業)	0	0	
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	1	43,764	
【NEDO】ナショナルプロジェクト	43	10,210,313	利用件数については、個別契約数ではない。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	2	3,155	利用件数については、個別契約数ではない。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	0	0	利用件数については、個別契約数ではない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	0	0	利用件数については、個別契約数ではない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金以外分)	1	1,991,512	利用件数については、個別契約数ではない。
【国交】建設技術研究開発助成制度	0	0	
【国交】交通運輸技術開発推進制度	0	0	
【環境】環境研究総合推進費	0	0	

(注) / : 対象外

「予算繰越制度」の活用促進に向けた具体的な取組

【機関名】資金配分制度名	「予算繰越制度」の活用促進に向けた具体的な取組
【内閣】食品健康影響評価技術研究	事務処理マニュアルに明記している。
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	やむを得ず、補助事業が年度内に終了しなかった場合、遅延届の提出を受け、繰越で対応している。
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	本制度では、やむをえない事情による繰越は認めているが、活用された実績はない
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調査及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】元素戦略プロジェクト	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調査及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	特になし
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	特になし
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調査及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費	
【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	特になし(なお、27年度から、日本医療研究開発機構に業務を移管する。)
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	特になし(なお、27年度から、日本医療研究開発機構に業務を移管する。)
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力システム研究開発事業	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調査及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(本予算分)	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調査及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分)	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調査及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調査及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	やむを得ない事由により、年度内に支出を完了することが期し難い場合には、財務大臣の承認を得て、最長翌年度末までの繰越を可能としているとともに、研究者等に対して求める繰越手続きの書類が「箇所別調査及び理由書(翌債承認に係るもの)」に統一されている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	募集要項及び事務処理説明書に繰越制度に関して記載するとともに、研究者及び研究機関事務局向けの事務処理説明会にて繰越制度について周知している。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	研究機関の担当者向けに、事務処理の説明をしており、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	研究機関向けの事務処理説明会にて、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	研究機関向けの事務処理説明会にて、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	事務処理要領において繰越制度について記載を実施。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	事務処理要領において繰越制度について記載を実施。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	事務処理要領において繰越制度について記載を実施。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	新規採択機関向けの事務処理説明会にて、繰越制度について周知するとともに、事務処理要領において繰越制度について記載を実施。募集要項等においても繰越ができる旨を記載している。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	新規採択研究者向けの事務処理説明会にて、繰越制度について周知するとともに、事務処理要領において繰越制度について記載を実施。募集要項等においても繰越ができる旨を記載している。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	研究機関の担当者向けに、事務処理の説明をしており、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	研究機関の担当者向けに、事務処理書で、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	研究機関の担当者向けに、事務処理書で、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	募集要項及び事務処理説明書に、繰越制度について明示している。
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進、産学共創)	新規採択研究者向けの事務処理説明会にて、繰越制度について周知するとともに、事務処理要領において繰越制度について記載を実施。募集要項等においても繰越ができる旨を記載している。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	新規採択研究者向けの事務処理説明会にて、繰越制度について周知するとともに、事務処理要領において繰越制度について記載を実施。募集要項等においても繰越ができる旨を記載している。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	新規採択機関向けの事務処理説明会にて、繰越制度について周知するとともに、事務処理要領において繰越制度について記載を実施。公募要領においても繰越ができる旨を記載している。
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム(SIP)	研究機関向けの事務処理説明会にて、繰越制度について周知するとともに、募集要項にも繰越制度に関する記載を実施。
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業(補正予算分:設備整備費補助金)	設備整備費補助金のため該当無し
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)(補正予算分:設備整備費補助金)	設備整備費補助金のため該当無し
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)(補正予算分:革新的新技術研究開発補助金(ImPACT))	特になし。

【機関名】資金配分制度名	「予算繰越制度」の活用促進に向けた具体的な取組
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(S))	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	年度間繰越の積極的な活用を図るため、その手続きを分かりやすく説明した資料を作成の上、研究機関に通知するとともに、ホームページで公開している。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	予算繰越制度に関する通知を厚生労働省のHPに掲載することにより繰越制度の活用促進に取り組んでいる。
【厚労】厚生労働科学研究委託費	予算繰越制度に関する通知を厚生労働省のHPに掲載することにより繰越制度の活用促進に取り組んでいる。
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究開発支援事業	
【NIBIO】希少疾病用医薬品等開発振興事業	
【NIBIO】ウルトラオープン強化費用	
【NIBIO】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(経営評価研究及びマーケティング研究)	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(橋渡し研究事業)	なし
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	特になし
【NEDO】ナショナルプロジェクト	・事業実施者向け説明会や機構ホームページにて周知することで、予算繰越制度の活用促進に取り組んでいる。 ・なお、機構においては、運営費交付金を財源とした事業について、研究開発力強化法が施行される以前より、予算繰越制度を導入している。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	・事業実施者向け説明会や機構ホームページにて周知することで、予算繰越制度の活用促進に取り組んでいる。 ・なお、機構においては、運営費交付金を財源とした事業について、研究開発力強化法が施行される以前より、予算繰越制度を導入している。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	・事業実施者向け説明会や機構ホームページにて周知することで、予算繰越制度の活用促進に取り組んでいる。 ・なお、機構においては、運営費交付金を財源とした事業について、研究開発力強化法が施行される以前より、予算繰越制度を導入している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	・事業実施者向け説明会や機構ホームページにて周知することで、予算繰越制度の活用促進に取り組んでいる。 ・なお、機構においては、運営費交付金を財源とした事業について、研究開発力強化法が施行される以前より、予算繰越制度を導入している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金以外分)	・事業実施者向け説明会や機構ホームページにて周知することで、予算繰越制度の活用促進に取り組んでいる。 ・なお、機構においては、運営費交付金を財源とした事業について、研究開発力強化法が施行される以前より、予算繰越制度を導入している。
【国交】建設技術研究開発助成制度	競争的資金に関する関係府省庁の申し合わせを踏まえ、繰越手続きの簡略化・弾力化を実施。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	
【環境】環境研究総合推進費	

	採択課題での 複数年契約	課題公募にお ける年複数回 の申請受理	採択課題での 年度当初から の資金使用
○:取組がある	46	19	56
△:現在取組はないが、今後取組予定	1	0	2
×:取組はない(現時点で取組予定なし)	31	59	20
(未回答)	1	1	1
プログラム数	79	79	79
取組がある	58.2%	24.1%	70.9%
現在取組はないが、今後取組予定	1.3%	0.0%	2.5%
取組はない(現時点で取組予定なし)	39.2%	74.7%	25.3%
(未回答)	1.3%	1.3%	1.3%
プログラム数	100.0%	100.0%	100.0%

予算執行の柔軟化に関する取組状況

【機関名】資金配分制度名	採択課題での 複数年契約	課題公募にお ける年複数回 の申請受理	採択課題での 年度当初から の資金使用	採択課題での複数年契約に関する具体的実績
【内閣】食品健康影響評価技術研究	×	×	○	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	×	○	○	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	×	○	○	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	×	×	○	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	×	×	×	
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	×	×	○	
【文科】元素戦略プロジェクト	×	×	○	
【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	×	×	○	特になし
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	×	×	○	特になし
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	×	×	○	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費	×	×	△	
【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	×	×	△	
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	×	×	×	
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	×	×	○	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子カシステム研究開発事業	×	×	×	
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(本予算分)	×	×	○	
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分)	×	×	○	
【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム	×	×	○	
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	×	×	○	
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	○	×	○	・平成26年度実績:契約件数1,870件: ・契約期間: 2年~3年(契約終了時に研究期間の残余がある場合には契約の延長を実施)  ※ 複数年度契約を締結することにより、簡便な繰越手続きを可能とし、研究費を切れ目なく効率的かつ効果的に使用することを可能としている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	○	×	○	平成26年度実績:契約件数 437件中、309件。 契約期間 2年の複数年度契約を締結することにより、簡便な繰越手続きを可能とし、研究費を切れ目なく効率的かつ効果的に使用することを可能としている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	○	×	○	平成26年度実績:契約件数61件、契約期間 2年 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	○	×	○	・平成26年度実績:契約件数1件 ・契約期間: 3年
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	○	○	○	研究期間が1年間以下の課題は、年度をまたぐ場合は複数年度契約としている。 H26年度は約480課題。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	○	×	○	平成26年度実績:契約件数 84件、契約期間 2~3年(年度を跨ぐ契約) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	○	×	○	平成26年度実績:契約件数 110件、契約期間 2~3年(年度を跨ぐ契約) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	○	×	○	平成26年度実績:契約件数 73件、契約期間 2年(年度を跨ぐ契約)  複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	○	×	○	平成26年度実績:契約件数 91件、契約期間 2年~3年 研究費の空白期間解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用が可能となっている。

【機関名】資金配分制度名	採択課題での複数年契約	課題公募における年複数回の申請受理	採択課題での年度当初からの資金使用	採択課題での複数年契約に関する具体的実績
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	○	×	○	平成26年度実績:契約件数183件 契約期間 H26随時～H27年3月 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	○	○	平成26年度実績:契約件数92件 契約期間 (始期および終期は課題により異なる) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	○	○	○	平成26年度実績:契約件数94件 契約期間 (始期および終期は課題により異なる) 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	○	×	○	新規採択契約24課題、継続契約6課題については、先方の中期計画期間等の事情が無い限り、複数年契約を実施。 複数年度契約を締結することにより、年度当初における契約締結まで研究費の執行ができない期間の解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用を可能としている。
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進、産学共創)	○	○	○	平成26年度は新規採択なし
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	○	×	○	平成26年度実績:契約件数 17件、契約期間 2年～3年 研究費の空白期間解消、使いづらさに誘因される不正防止、事務手続きの省力化など研究費の効率的かつ効果的な使用が可能となっている。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	○	○	×	単年度契約を希望する機関を除き、原則として複数年契約を締結している。
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム(SIP)	○	×	○	・平成26年度実績:契約件数1件 ・契約期間: 3年
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業(補正予算分:設備整備費補助金)	×	×	×	設備整備費補助金のため該当無し
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)(補正予算分:設備整備費補助金)				設備整備費補助金のため該当無し
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)(補正予算分:革新的新技術研究開発補助金(ImPACT))	○	○	○	ハイリスク・ハイインパクトな挑戦的研究開発を推進するため。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	○	×	○	・国庫債務負担行為の導入
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(S))	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	○	×	○	・研究費の基金化
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	○	○	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	×	×	○	・設定している研究期間は1年
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究奨励費)	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	○	×	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	○	○	○	・複数年にわたる内定
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	○	×	○	・複数年にわたる内定
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	×	○	○	
【厚労】厚生労働科学研究委託費	×	○	○	

【機関名】資金配分制度名	採択課題での 複数年契約	課題公募にお ける年複数回 の申請受理	採択課題での 年度当初から の資金使用	採択課題での複数年契約に関する具体的実績
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業	×	×	×	実績無し
【NIBIO】希少疾病用医薬品等開発振興事業	○	○	○	医薬品開発段階から製造販売承認申請に至るまでの原則、3事業年度の期間において助成している。
【NIBIO】ウルトラオーファン強化費用	○	○	○	医薬品開発段階から製造販売承認申請に至るまでの原則、3事業年度の期間において助成している。
【NIBIO】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	×	×	×	
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業	×	×	×	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	○	×	○	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(経営評価研究及びマーケティング研究)	○	×	○	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	○	×	○	研究については複数年契約とし、委託費は単年度毎の変更契約を行うこととした。
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	○	×	○	研究については複数年契約とし、委託費は単年度毎の変更契約を行うこととした。
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	○	○	×	公募の段階で3年以内の複数年契約を締結する旨記載
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	○	×	×	公募の段階で3年以内の複数年契約を締結する旨記載
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	○	×	○	研究については5年間の複数年契約とし、委託費は単年度毎の変更契約を行うこととした。
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(橋渡し研究事業)	×	×	×	なし
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	×	×	×	
【NEDO】ナショナルプロジェクト	○	○	×	事業の予見性を高めるとともに、進捗に応じた柔軟な執行を可能とするため、原則複数年度契約を行っている。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	○	○	×	事業の予見性を高めるとともに、進捗に応じた柔軟な執行を可能とするため、原則複数年度契約を行っている。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	×	×	×	事業期間が平成26年度のみであるため、複数年度契約を行っていない。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	○	○	×	事業の予見性を高めるとともに、進捗に応じた柔軟な執行を可能とするため、原則複数年度契約を行っている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金以外分)	○	○	×	事業の予見性を高めるとともに、進捗に応じた柔軟な執行を可能とするため、原則複数年度契約を行っている。
【国交】建設技術研究開発助成制度	×	×	×	特になし。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	×	×	×	
【環境】環境研究総合推進費	△	×	×	0
	○:取組がある △:現在取組はないが、今後取組予定 ×:取組はない(現時点で取組予定なし) /:対象外			



課題採択・交付決定の時期

【機関名】資金配分制度名	採択課題決定の回数及び時期(新規)	交付決定の時期(新規、継続)		交付決定の時期を早めるための取組
		新規分	継続分	
【内閣】食品健康影響評価技術研究	採択課題の決定回数1回 採択時期:前年度3月上旬 ※追加公募を行った場合はこの限りではない。	4月	4月	公募時期の前倒し(前年度の10月に公募開始)
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	1回7月 年間通して常時募集	7月	4月	基本年度当初
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	1回7月	7月	7月	
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	5~6月、年1回	5~6月、年1回	5~6月、年1回	できるだけ早く、新規・継続研究課題の評価を開始する。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発			2月頃	
【文科】元素戦略プロジェクト			2月頃	
【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム			委託契約締結時(原則4月1日)	特になし
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	1回、事業開始年度	委託契約締結時	委託契約締結時(原則4月1日)	特になし
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	年2回 8月及び9月 (プログラムによる)	契約締結時	契約締結時	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費	年1回、8月頃	10月頃		
【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	1回 時期は、課題毎に決める。	時期は、課題毎に決める。	交付決定は行っていない。	特になし
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	1回 時期は課題毎に決める。	時期は課題毎に決める。	交付決定は行っていない。	特になし
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	年一回随時	採択課題決定後2ヶ月程度	当該年度初期	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業原子力システム研究開発事業	回数:1回 時期:8月頃	10月頃	年度初め	新規採択課題決定のための審査に係る日数や契約手続書類の確認に係る時間を可能な限り短くすることで、契約時期を早めるべく取り組んでいる
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(本予算分)			2014/4/1	
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分)			2015/2/4	
【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム			2014/4/1	
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発			契約締結時	
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	1回 原則 9月(半年予算のため)	原則 10月	原則 4月	左記の交付決定(契約締結・更新)の時期に合わせ、研究計画書の策定や委託研究契約手続きを事前に行う。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	1回 9月	契約締結後速やかに交付	研究計画確定後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。2014年度は、新規分を9月末に、継続分を3月中に交付決定。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	1回 9月	契約締結後速やかに交付	研究計画確定後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	1回 6月	契約締結後速やかに交付	研究計画確定後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	2回 不定期	下半期	年度初	-
【JST】研究成果展開事業(産学共創基盤研究プログラム)	1回 10月	契約締結後速やかに交付	契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	平成26年度は新規採択なし	平成26年度は新規採択なし	契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	新規採択無し	新規採択無し	契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	1回 12月	契約締結後速やかに交付	契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	1回 5月頃	採択決定後、随時	年度初め	・新規課題の採択決定を年度当初に実施するように努めている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	対象国・分野による	採択決定後、随時	年度初め	新規課題については、年度区切りを待たずに随時課題採択を決定することで、迅速な交付決定が可能である。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	対象国・分野による	採択決定後、随時	年度初め	新規課題については、年度区切りを待たずに随時課題採択を決定することで、迅速な交付決定が可能である。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	1回 3月	翌年度初め、かつ契約締結後に速やかに交付	翌年度初め、かつ契約締結後に速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取り、契約締結の迅速化を行っている。
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進、産学共創)	平成26年度は新規採択なし	平成26年度は新規採択なし	契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	0回	契約締結後速やかに交付	契約締結後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)(5課題合計)	平成26年8~11月	平成26年9~11月	平成26年度開始のプログラムのため継続課題無し	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム(SIP)	1回 6月	契約締結後速やかに交付	研究計画確定後速やかに交付	採択された研究者や事務担当者等研究機関の関係者と密に連絡を取る等契約締結の迅速化を行っている。
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業(補正予算分:設備整備費補助金)		設備整備費補助金のため該当無し	設備整備費補助金のため該当無し	設備整備費補助金のため該当無し

【機関名】資金配分制度名	採択課題決定の回数及び時期(新規)	交付決定の時期(新規、継続)		交付決定の時期を早めるための取組
		新規分	継続分	
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)(補正予算分:設備整備費補助金)	設備整備費補助金のため該当無し	設備整備費補助金のため該当無し	設備整備費補助金のため該当無し	設備整備費補助金のため該当無し
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)(補正予算分:革新的新技術研究開発補助金(ImPACT))	PMの研究計画に基づき随時実施	PMの研究計画に基づき随時実施	PMの研究計画に基づき随時実施	特に無し。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	1回、5月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(S))	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	1回、8月	10月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	1回、4月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	2回、4月、5月	6月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	1回、6月	7月	6月	電子システムの導入による事務の効率化。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	随時	随時	6月	前年度中に公募・審査を実施。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	1回、4月	6月	6月	前年度中に公募・審査を実施。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	〇回(26年度実績。なお、年度により公募回数に変動があり得る。)	当該年度当初採択課題は6月末を目標としている。	当該年度当初採択課題は6月末を目標としている。	事業担当課及び会計部門の協力を得て、申請書類の優先的な審査を行っているところ。
【厚労】厚生労働科学研究委託費	〇回(26年度実績。なお、年度により公募回数に変動があり得る。)	当該年度当初採択課題は6月末を目標としている。	当該年度当初採択課題は6月末を目標としている。	事業担当課及び会計部門の協力を得て、申請書類の優先的な審査を行っているところ。
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究発掘支援事業	1回	2月	2月	新規・継続審査及び配分額の早期決定
【NIBIO】希少疾病用医薬品等開発振興事業	2回(7月、2月頃)	7月、2月頃	7月頃	交付決定前のヒアリングについて、継続分は、前年度の状況に応じて書面対応も検討している。
【NIBIO】ウルトラオーファン強化費用	2回(7月、2月頃)	7月、2月頃	7月頃	交付決定前のヒアリングについて、継続分は、前年度の状況に応じて書面対応も検討している。
【NIBIO】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	1回(4月頃)	4月頃		
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業	1回(5月頃)	5月以降	4月1日以降	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	1回 平成26年4月	平成26年4~7月		
【NARO】革新的技術緊急展開事業(経営評価研究及びマーケティング研究)	1回 平成26年8月	平成26年10月		
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	2回 平成26年9月(補完研究) 平成26年6月(拠点研究)	平成26年8月、10月(拠点研究) 平成26年11月、12月(補完研究)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	2回 平成26年9月(補完研究) 平成26年6月(拠点研究)	平成26年8月(拠点研究) 平成26年11月(補完研究)		
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	1回 平成26年9月 2回 平成27年2月	平成26年11月		
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	1回 平成26年6月	平成26年8月		
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	1回 平成26年10月	平成26年11~12月		
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(橋渡し研究事業)	1回、6月	10月以降	5月以降	公募時期の早期化、審査期間の短縮に努めている。
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	1回、7月下旬	採択後~9月末	2016/4/1	
【NEDO】ナショナルプロジェクト	年度当初に1回実施しており、必要に応じて追加公募を実施している。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度末に公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	年度当初に1回実施しており、必要に応じて追加公募を実施している。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度末に公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	年度当初に1回実施している。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度末に公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。

【機関名】資金配分制度名	採択課題決定の回数及び時期(新規)	交付決定の時期(新規、継続)		交付決定の時期を早めるための取組
		新規分	継続分	
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	平成26年度においては、新規公募を実施していない。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度末に公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金以外分)	年度当初に1回実施しており、必要に応じて追加公募を実施している。	採択決定後	前の契約期間終了前	可能な限り前年度末に公募を開始し、採択決定時期を早めるとともに、公募締切から採択決定までの期間を設定し、事務の合理化・迅速化を図っている。
【国交】建設技術研究開発助成制度	1回、例年7月	例年7月	例年7月	例年、前年度2～3月より公募開始している(翌年度予算の成立を前提として)。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	1回、4月	4月	4月	できるだけ早めの公募を実施
【環境】環境研究総合推進費	1回、2月	5月	4月	

報告書の提出期限

【機関名】資金配分制度名	報告書の提出期限	年度末までの研究に支障がないようにするための取組
【内閣】食品健康影響評価技術研究	会計実績報告書：4月10日 研究成果報告書：研究最終年度の3月31日	28年度以降は、「競争的資金における使用ルール等の統一について」(H27.3.31競争的資金に関する関係府省連絡会申し合わせ)に基づき、会計実績報告書については、諸条件を満たした場合に、国の会計年度終了後61日以内までの提出を可能とする予定。また、研究成果報告書についても、国の会計年度終了後61日までの提出を可能とする予定。
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業 【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	3月末 基本補助事業完了後61以内	各府省庁申合せに従い、会計実績報告書、研究成果報告書の提出期限を5月31日までに延長し、年度末まで研究が実施出来るよう措置
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	補助事業完了日から起算して一ヶ月を過ぎた日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで。	補助金等適正化中央連絡協議会の決定に従い、最大限、後ろ倒しとした提出期限としている。
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	2015/3/10	平成27年度からは、関係府省連絡会申し合わせに則り対応
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】元素戦略プロジェクト	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	委託業務の完了又は廃止の日のいずれか早い日から起算して60日以内	特になし
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	委託業務の完了又は廃止の日のいずれか早い日から起算して60日以内	特になし
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	実績報告書については、委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	特になし
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	実績報告書については、委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	特になし
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	翌会計年度4月	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力システム研究開発事業	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(本予算分)	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分)	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	委託業務の完了した日から30日を経過した日又は翌会計年度の4月10日のいずれか早い日まで	年度末の研究に支障がないように提出期限を設定している。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	事業年度終了後もしくは研究期間終了後30日以内	委託研究実績報告書の提出期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないようにしている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	実績報告書：当該年度終了後30日以内 成果報告書：当該年度終了後60日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最速展開支援プログラム)	年度末または契約期間終了日から1ヶ月以内	平成27年度より、提出期限を1ヶ月以内から61日以内に延長している。
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進、産学共創)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】戦略的イノベーション創出プログラム(SIP)(5課題合計)	事業年度終了後若しくは研究実施期間終了後30日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム(SIP)	実績報告書：当該年度終了後30日以内 成果報告書：当該年度終了後60日以内	決算報告の期限を年度終了後30日以内とすることで年度末までの経費執行に支障が生じないように配慮を行っている。
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業(補正予算分:設備整備費補助金)	設備整備費補助金のため該当無し	設備整備費補助金のため該当無し
【JST】研究成果展開事業(研究成果最速展開支援プログラム)(補正予算分:設備整備費補助金)	設備整備費補助金のため該当無し	設備整備費補助金のため該当無し

【機関名】資金配分制度名	報告書の提出期限	年度末までの研究に支障がないようにするための取組
【JST】革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) (補正予算分・革新的新技術研究開発補助金 (ImPACT))	H26分は各年度終了後1ヶ月以内。H27分より各年度終了後2ヶ月以内。	特に無し。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(S))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(A))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(B))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(基盤研究(C))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(挑戦的萌芽研究)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(S))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(A))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(若手研究(B))	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(奨励研究)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(新学術領域研究)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別研究促進費)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特定奨励費)	補助事業期間終了の翌年度の5月31日まで	年度末まで研究が実施できるようにするために、実績報告書等の提出期限を補助事業期間終了の翌年度の5月31日までとしている。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	事業実施翌年度の5月末	実績報告書の提出期限を5月末に設定することにより、年度末まで研究が実施できるよう配慮を行っている。
【厚労】厚生労働科学研究委託費	事業実施翌年度の5月末	実績報告書の提出期限を5月末に設定することにより、年度末まで研究が実施できるよう配慮を行っている。
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究開発支援事業	2015/4/10	特に無し
【NIBIO】希少疾病用医薬品等開発振興事業	2015/3/31	提出期限に関しては状況に応じて1週間程度の猶予期間を設定している。
【NIBIO】ウルトラオーファン強化費用	2015/3/31	提出期限に関しては状況に応じて1週間程度の猶予期間を設定している。
【NIBIO】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	2015/3/31	提出期限に関しては状況に応じて1週間程度の猶予期間を設定している。
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業	2016/3/22	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)	2015/3/31	
【NARO】革新的技術緊急展開事業(経営評価研究及びマーケティング研究)	2015/3/31	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(25補正予算分)	2015/3/31	
【NARO】革新的技術創造促進事業(異分野融合共同研究)(26本予算分)	2015/3/31	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(本予算分)	2015/3/31	
【NARO】革新的技術創造促進事業(事業化促進)(補正予算分)	2015/3/31	
【NARO】SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)次世代農林水産業創造技術	2015/3/31	
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(橋渡し研究事業)	補助事業が完了した日から起算して30日を経過した日又は翌年度4月10日のいずれか早い日まで。	
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)	補助事業終了後30日以内若しくは4月10日のいずれか早い日	報告書の提出期限を4月10日としている
【NEDO】ナショナルプロジェクト	実績報告書については、委託業務の場合には完了の日又は委託期間の終了日のいずれか早い日まで、助成事業の場合には完了の日又は当該会計年度の末日までに提出することとしている。	特になし。
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	実績報告書については、助成事業の完了の日又は当該会計年度の末日までに提出することとしている。	特になし。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	実績報告書については、助成事業の完了の日又は当該会計年度の末日までに提出することとしている。	特になし。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	実績報告書については、助成事業の完了の日から30日以内又は機構が指定する期日までに提出することとしている。	年度末まで研究ができるよう、実績報告書の提出期限を助成事業の完了の日から30日以内と余裕をもって設定している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金以外分)	実績報告書については、助成事業の完了の日又は当該会計年度の末日までに提出することとしている。	特になし。
【国交】建設技術研究開発助成制度	翌年度の5月31日	経費の支出が可能な期日を3月31日までとしている。
【国交】交通運輸技術開発推進制度	完了(3月20日)後速やかに	
【環境】環境研究総合推進費	2015/3/31	

○:支出を認めている	59	74.7%
△:現在支出を認めていないが、今後認める予定	4	5.1%
×:支出は認めていない(現時点で認める予定なし)	16	20.3%
(未回答)	0	0.0%
プログラム数	79	100.0%

科学・技術コミュニケーションを促進するための取組

【機関名】資金配分制度名	科学・技術コミュニケーション活動への支出の有無	その他、科学・技術コミュニケーションを促進するための取組
【内閣】食品健康影響評価技術研究	×	
【総務】戦略的情報通信研究開発推進事業	×	
【総務】ICTイノベーション創出チャレンジプログラム	○	
【総務】デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発	×	研究開発終了後、できるだけ速やかに当省のHPに研究開発成果等を掲載している。
【総務】消防防災科学技術研究推進制度	○	本制度における委託費は上限が3,000万円未満であり、義務とはしていないが、研究成果はできるだけ公表する旨を公募要領に記載している。
【文科】ナノテクノロジーを活用した環境技術開発	○	
【文科】元素戦略プロジェクト	○	
【文科】感染症研究国際ネットワーク推進プログラム	○	特になし
【文科】分子イメージング研究戦略推進プログラム	○	特になし
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ	○	定期的に事業進捗状況や開発成果をシンポジウム等を開催することによって一般公開するとともに、WEB上にも事業ホームページを立ち上げ、常に情報発信を行っている。
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 廃止措置等基盤研究・人材育成プログラム委託費	○	
【文科】脳科学研究戦略推進プログラム	×	脳プロ公開シンポジウムを毎年2月に実施している。
【文科】革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト	×	実績はない
【文科】宇宙航空科学技術推進委託費	○	
【文科】国家課題対応型研究開発推進事業 原子カシステム研究開発事業	×	参加費や旅費等の積算を認める等、当該事業での研究成果に関する学会発表等は促進しているが、一般の社会・国民を対象とした科学・技術コミュニケーションは促進していない。
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(本予算分)	○	定期的に事業進捗状況や開発成果をシンポジウム等を開催することによって一般公開するとともに、WEB上にも事業ホームページを立ち上げ、常に情報発信を行っている。
【文科】最先端の光の創成を目指したネットワーク研究拠点プログラム(補正予算分)	○	定期的に事業進捗状況や開発成果をシンポジウム等を開催することによって一般公開するとともに、WEB上にも事業ホームページを立ち上げ、常に情報発信を行っている。
【文科】光・量子融合連携研究開発プログラム	○	公募要領にも「国民との科学・技術対話」の積極的な推進を謳っており、定期的に事業進捗状況や開発成果をシンポジウム等を開催することによって一般公開するとともに、WEB上にも事業ホームページを立ち上げ、常に情報発信を行っている。
【文科】未来社会実現のためのICT基盤技術の研究開発	○	定期的に事業進捗状況や開発成果をシンポジウム等を開催することによって一般公開するとともに、WEB上にも事業ホームページを立ち上げ、常に情報発信を行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(先端的低炭素化技術開発)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業	○	・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。 ・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。 ・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。 ・ポータルサイト「iPS Trend」において、iPS細胞等に関するニュース/イベント、研究者インタビュー記事、政府動向などに関する情報発信を行っている。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)	△	研究費からのアウトリーチ活動費支出は認めていないが、成果発表会、成果展示会等で研究成果を紹介している。

【機関名】資金配分制度名	科学・技術コミュニケーション活動への支出の有無	その他、科学・技術コミュニケーションを促進するための取組
【JST】研究成果展開事業(産学共創基礎基盤研究プログラム)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。</li> <li>・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。</li> </ul>
【JST】研究成果展開事業(戦略的イノベーション創出推進プログラム)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。</li> <li>・事後評価における評価項目の一部としている。</li> <li>・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。</li> </ul>
【JST】研究成果展開事業(センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。</li> <li>・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。</li> <li>・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。</li> </ul>
【JST】研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)	△	研究費からのアウトリーチ活動費支出は認めていないが、成果発表会、成果展示会等で研究成果を紹介している。
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。</li> <li>・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。</li> <li>・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。</li> </ul>
【JST】国際科学技術共同研究推進事業(戦略的国際共同研究プログラム)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。</li> <li>・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。</li> </ul>
【JST】戦略的国際科学技術協力推進事業	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。</li> <li>・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。</li> </ul>
【JST】ライフサイエンスデータベース統合推進事業	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載して周知している。</li> <li>・事後評価における評価項目の一部としている。</li> <li>・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。</li> <li>・分子生物学会では、NBDCの委託研究開発課題を取りまとめてブース出展し、NBDCコーナーとして成果を積極的に紹介している。</li> </ul>
【JST】復興促進プログラム(マッチング促進、産学共創)	△	研究費からのアウトリーチ活動費支出は認めていないが、成果発表会、成果展示会等で研究成果を紹介している。
【JST】先端計測分析技術・機器開発プログラム(放射線計測)	△	研究費からのアウトリーチ活動費支出は認めていないが、成果発表会、成果展示会等で研究成果を紹介している。
【JST】戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)(5課題合計)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載している。</li> <li>・事務処理要領に、SIP課題の関連機関が主催するミーティング、シンポジウム参加に際しての旅費支出を認める記載をしている。</li> <li>・JSTが主催する、サイエンスアゴラ、JSTフェア等の展示会等において、積極的にSIP課題の紹介、周知を行っている。</li> </ul>
【JST】再生医療実現拠点ネットワークプログラム(SIP)	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国民との科学・技術対話」の推進について、募集要項に記載するとともに、採択者向けの代表者説明会においても周知している。</li> <li>・中間評価、事後評価における評価項目の一部としている。</li> <li>・研究成果を積極的に分かりやすく紹介するために、シンポジウム開催、企画展等での紹介が可能な成果についての支出も認めている。研究費に占めるアウトリーチ活動費の上限は特に設定していない。また、JSTも公開シンポジウムを開催するなど研究成果の情報発信を行っている。</li> <li>・ポータルサイト「iPSTrend」において、iPS細胞等に関するニュース/イベント、研究者インタビュー記事、政府動向などに関する情報発信を行っている。</li> </ul>
【JST】再生医療実現拠点ネットワーク事業(補正予算分:設備整備費補助金)	×	設備整備費補助金のため、設備以外の目的は認めていない。
【JST】研究成果展開事業(研究成果最適展開支援プログラム)(補正予算分:設備整備費補助金)	×	設備整備費補助金のため、設備以外の目的は認めていない。
【JST】革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)(補正予算分:革新的新技術研究開発補助金(ImPACT))	○	PMの指示の下、資金配分先で科学・技術コミュニケーション活動を実施させることが可能としている。
【JSPS】科学研究費助成事業(特別推進研究)	○	<p>研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。</p> <p>また、比較的高額な研究費を受ける特別推進研究などの研究進捗評価や、新学術領域研究(研究領域提案型)などの中間評価において「研究内容、研究成果の積極的な公表、普及に努めているか」という着眼点を設けている。</p> <p>そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。</p>





【機関名】資金配分制度名	科学・技術コミュニケーション活動への支出の有無	その他、科学・技術コミュニケーションを促進するための取組
【JSPS】科学研究費助成事業（特別研究員奨励費）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 また、比較的高額な研究費を受ける特別推進研究などの研究進捗評価や、新学術領域研究（研究領域提案型）などの中間評価において「研究内容、研究成果の積極的な公表、普及に努めているか」という着眼点を設けている。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（新学術領域研究）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 また、比較的高額な研究費を受ける特別推進研究などの研究進捗評価や、新学術領域研究（研究領域提案型）などの中間評価において「研究内容、研究成果の積極的な公表、普及に努めているか」という着眼点を設けている。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（特別研究促進費）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 また、比較的高額な研究費を受ける特別推進研究などの研究進捗評価や、新学術領域研究（研究領域提案型）などの中間評価において「研究内容、研究成果の積極的な公表、普及に努めているか」という着眼点を設けている。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【JSPS】科学研究費助成事業（特定奨励費）	○	研究期間終了後に提出を求めている研究成果報告書において、アウトリーチ活動情報に関する記載を求めるなど、科研費による成果を積極的に社会・国民に発信するよう促している。 また、比較的高額な研究費を受ける特別推進研究などの研究進捗評価や、新学術領域研究（研究領域提案型）などの中間評価において「研究内容、研究成果の積極的な公表、普及に努めているか」という着眼点を設けている。 そのほか、日本学術振興会においては、科研費による最新の研究成果を、小・中学生や高校生に体験・実験・講演を通じて分かりやすく紹介する「ひらめき☆ときめきサイエンス」プログラムを実施しており、科学・技術コミュニケーションの促進に活用されている。
【厚労】厚生労働科学研究費補助金	○	公募要項に「国民との双方コミュニケーション活動」について、記載しており、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信等の活動を積極的に取り組むよう促している。また、採択された研究課題を支援する目的のために「厚生労働科学研究推進事業」があり、研究成果発表会や研究事業毎のパンフレット作成等により、厚生労働科学研究費の研究成果等の普及啓発を実施している。
【厚労】厚生労働科学研究委託費	○	公募要項に「国民との双方コミュニケーション活動」について、記載しており、研究成果に関しての市民講座、シンポジウム及びインターネット上での研究成果の継続的配信等の活動を積極的に取り組むよう促している。
【NIBIO】先駆的医薬品・医療機器研究開発支援事業	×	現時点で特に無し
【NIBIO】希少疾病用医薬品等開発振興事業	×	現時点で特になし
【NIBIO】ウルトラオーファン強化費用	×	現時点で特になし
【NIBIO】希少疾病用再生医療品等開発支援事業	×	現時点で特になし
【農水】農林水産業・食品産業科学研究推進事業	○	国として研究成果発表会を2回実施している。
【NARO】革新的技術緊急展開事業（産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立）	○	HP、成果発表会等研究内容等の情報提供
【NARO】革新的技術緊急展開事業（経営評価研究及びマーケティング研究）	○	HP、成果発表会等研究内容等の情報提供
【NARO】革新的技術創造促進事業（異分野融合共同研究）（25補正予算分）	○	HP、成果発表会等研究内容等の情報提供
【NARO】革新的技術創造促進事業（異分野融合共同研究）（26本予算分）	○	HP、成果発表会等研究内容等の情報提供
【NARO】革新的技術創造促進事業（事業化促進）（本予算分）	○	アグリビジネス創出フェア等公的資金を受けた研究機関が集まる技術展等、今後の販売の可能性を検討したり、研究の概要や、成果をPRする取組
【NARO】革新的技術創造促進事業（事業化促進）（補正予算分）	○	アグリビジネス創出フェア等公的資金を受けた研究機関が集まる技術展等、今後の販売の可能性を検討したり、研究の概要や、成果をPRする取組
【NARO】SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）次世代農林水産業創造技術	○	アウトリーチ活動の実施が評価項目にある
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業（橋渡し研究事業）	×	なし
【経産】ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業（戦略的基盤技術高度化支援事業）	×	
【NEDO】ナショナルプロジェクト	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について（基本的取組方針）を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用（アウトリーチ活動費）に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。

【機関名】資金配分制度名	科学・技術コミュニケーション活動への支出の有無	その他、科学・技術コミュニケーションを促進するための取組
【NEDO】実用化促進事業(内、本予算分)	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用(アウトリーチ活動費)に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。
【NEDO】実用化促進事業(内、補正予算分)	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用(アウトリーチ活動費)に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金分)	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用(アウトリーチ活動費)に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。
【NEDO】技術シーズの発掘(内、競争的資金以外分)	○	・国民や社会へ分かりやすく成果を情報発信するため、映像物、印刷物、ホームページ等の媒体の製作・提供、成果報告会、展示会等の開催・出展等を行っており、必要に応じて、英語版を含む外国語版の媒体を製作することにより、世界への情報発信も行っている。 ・「国民との科学・技術対話」の推進について(基本的取組方針)を踏まえ、配分する直接経費の一部を当該活動の費用(アウトリーチ活動費)に充当できる仕組みを導入し、公募要領等にも明記するなどの取組を実施している。
【国交】建設技術研究開発助成制度	×	
【国交】交通運輸技術開発推進制度	×	
【環境】環境研究総合推進費	○	
		○: 支出を認めている △: 現在支出を認めていないが、今後認める予定 ×: 支出は認めていない(現時点で認める予定なし)